

和水町の家計簿

令和4年度決算

令和4年度一般会計及び特別会計・企業会計の決算が、令和5年9月定例議会で承認されました。町民の皆さんが納めた税金や国・県から交付されたお金がどのように使われ町の財政が運営されているのかお知らせします。また、町ホームページには、主要施策成果報告書を掲載しています。令和4年度に実施した事業のあらましを、ぜひご覧ください。

【決算状況】

令和4年度の一般会計の歳入から歳出を差し引いた額は、5億9,977万円です。このうち4,033万円は令和5年度に繰り越した事業の財源となります。

【歳入を前年度と比較すると】

自主財源の代表的なものである町税は、5,977万円（6.5%）増加しましたが、自主財源全体では、寄附金や財産収入の減などにより約2億2千万円（△6.6%）減少しました。依存財源は、代表的なものである地方交付税で、約1億4千万円（△4.2%）の減、災害復旧事業の減等から国庫支出金や町債が減少し約7億4千万円（△11.0%）減少。歳入全体で9億5,732万円（△9.5%）減少しました。

【歳出を前年度と比較すると】

義務的経費は、一般職給料や退職手当組合負担金の減等による人件費の減少、前年度の臨時特別給付金支給事業が終了したことなどによる扶助費の減少により約3億4千万円（△11.5%）減少。投資的経費は、災害復旧事業費の減少により、約5億2千万円（△30.9%）減少しました。その他の経費は、ため池ハザードマップ作成事業や生活支援臨時特別交付金事業、プレミアム商品券事業、高齢者生活支援給付金事業などにより約6億5千万円（16.3%）増加しました。歳出全体では2億1,648万円（△2.5%）減少しました。

町民一人あたりに換算

町民一人に使われたお金

923,391円

※算出根拠：歳出総額85億628万円÷9,212人≒923,391円

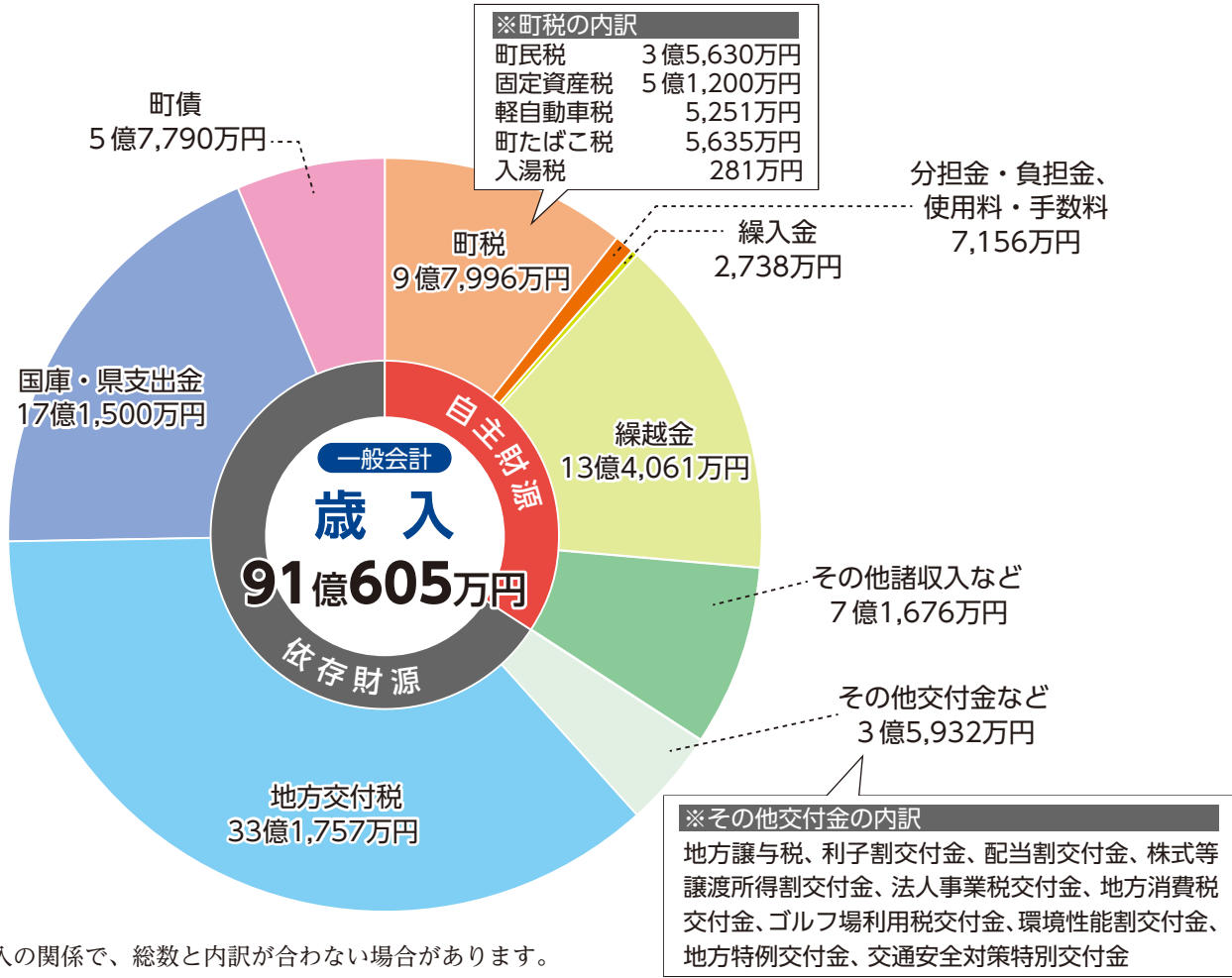
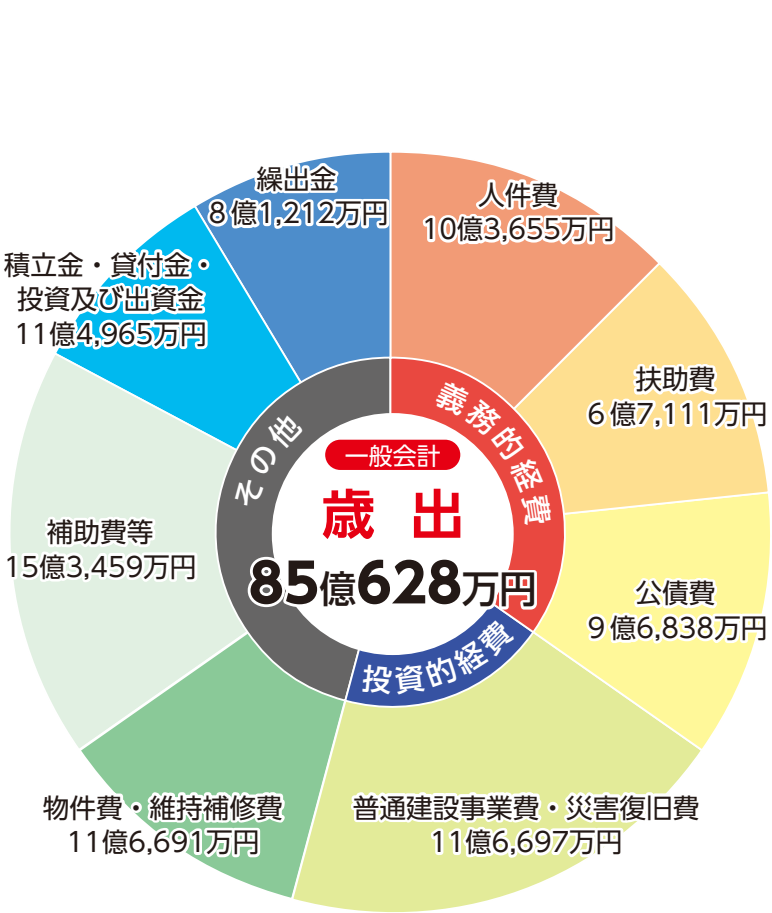
町民一人が支払った町税

106,379円

※算出根拠：町税9億7,996万円÷9,212人≒106,379円

(人口は令和5年3月末日の人口(9,212人)で算出)

区分	R4決算額	町民一人当たり換算
議会費	7,146万円	7,758円
総務費	24億3,818万円	264,674円
民生費	19億2,466万円	208,929円
衛生費	8億1,556万円	88,532円
農林水産業費	2億9,335万円	31,845円
商工費	1億8,209万円	19,767円
土木費	7億6,635万円	83,190円
消防費	2億7,907万円	30,294円
教育費	5億1,529万円	55,937円
災害復旧費	2億5,189万円	27,344円
公債費	9億6,838万円	105,122円
合計	85億628万円	923,391円



※四捨五入の関係で、総数と内訳が合わない場合があります。

- 普通建設事業費
道路、橋りょう、河川や公共施設の建設費
- 物件費
業務委託料、消耗品費、通信運搬費など
- 維持補修費
道路、橋りょう、公共施設などの修繕費
- 補助金等
各種団体への補助金、負担金など
- 議会費
議会運営のために使用する費用
- 総務費
行政運営やまちづくりのために使用する費用
- 民生費
福祉・医療のために使用する費用
- 衛生費
ごみ処理や病気予防のために使用する費用
- 農林水産費
農林業の振興のために使用する費用
- 商工費
商工業・観光振興のために使用する費用
- 土木費
道路や橋りょうなどのインフラ整備のために使用する費用
- 消防費
消防や災害予防のために使用する費用
- 教育費
学校や生涯学習のために使用する費用
- 災害復旧費
災害時の復旧のために使用する費用

- 【用語解説】
町の行政運営にかかる基本的な経費を計上した会計
- （歳入）
- 自主財源
町が自主的に収入できる財源
- 依存財源
国や県から交付される収入
- 分担金・負担金
特定の事業費の一部を利用者や受益者が負担するお金
- 使用料・手数料
公共施設使用料や各種証明手数料など
- 繰入金
他会計や基金などから移動（繰入）したお金
- その他諸収入など
財産収入、寄附金、諸収入など
- 地方交付税
全ての市町村が一定水準の行政サービスを行うことができるよう国から交付されるお金
- 国庫・県支出金
特定の事業を行うために国・県から交付されるお金
- 町債
特定の事業を行うために借り入れるお金
- （歳出）
- 扶助費
教育、医療、福祉などの社会保障費
- 公債費
町の借金返済に係る費用